

資料 1

交通安全意識調査

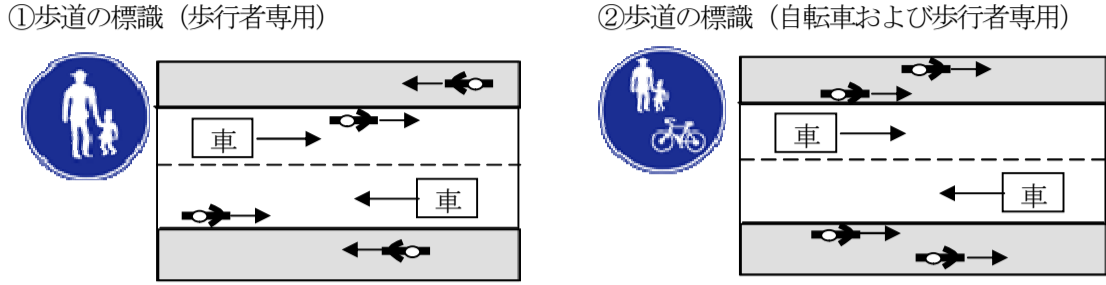
山口県立宇部中央高等学校

() 年次 () 組 () 番 氏名 ()

1 交通マナーで気をつけなければならないと強く感じていることは何ですか。

2 自転車の運転についてあなたはどのくらい知っていますか？以下の質問に教えてください。

- (1) 自転車は自動車やバイクと同じ「車両」の仲間である (はい・いいえ)
- (2) 自転車が走る場所は、原則 (歩道・車道) で (右側・左側) 通行です。
- (3) 歩道に次の交通標識がある時、道路交通法上正しく通行している自転車を下の図中に丸で囲んでください。各1つあります。



ただし、交通量が多く車道を走ると危険だと判断したときは、歩道を押して通る。現実的には徐行かもしれません。

(4) 自転車通行可能な歩道 (3) の②で歩行者の通行を妨げる事となるとき自転車はどうしなければいけないと思いますか。 ()

基本的に歩道は歩行者のためのものです。歩道を自転車で走るとき、「走らせてもらっている」という意識をもって、自分の身を車から守ることと同時に歩行者の安全も考えて徐行するよう心掛けましょう。

3 先日の緊急交通安全教室後にあなたの交通安全に対する意識はどのように変わりましたか。以下の質問に教えてください。

- (1) 学校に登校する時間を早めるようにした (はい・いいえ)
- (2) 自転車にTSマークを貼った (はい・いいえ)
(自転車安全点検を受け賠償保険に加入した)
- (3) 上の (1)、(2) 以外に以前に比べて交通安全に対する意識が変わった点を自由に記入してください。

通学路危険箇所調査

- 1 あなたの通学手段は何ですか。(複数利用している場合は全てに○を付けてください)
①徒歩 ②自転車 ③電車 ④バス
- 2 あなたが通学しているときに、「危ない」と感じた事がありますか。ある場合はその時の状況について以下の問いに答えてください。(最大2つのケースをあげてください)

	問い	選択項目	解答欄	
			ケースA	ケースB
(1)	自分の交通手段	①徒歩 ②自転車		
(2)	相手の交通手段	①徒歩 ②自転車 ③自動車 ④相手なし		
(3)	天候	①晴れ ②曇り ③雨 ④雪 ⑤その他 (その他の内容は解答欄に記入して下さい)		
(4)	時刻	①6～9時 ②9～16時 ③16～19時 ④19～6時		
(5)	現場の状況	①見通しが悪い ②横断歩道がない ③歩道がない(狭い) ④信号が見えにくい(無い) ⑤照明がない(暗い) ⑥坂道 ⑦交通量の多い交差点 ⑧その他 (その他の内容は解答欄に記入して下さい)		

(6) 危険と感じた体験の内容と、危険だった自分側の原因を書いてください。(詳しく書いてください)

	ケースA	ケースB
内容		
自分側の原因		

(7) 現場の場所を教えてください。

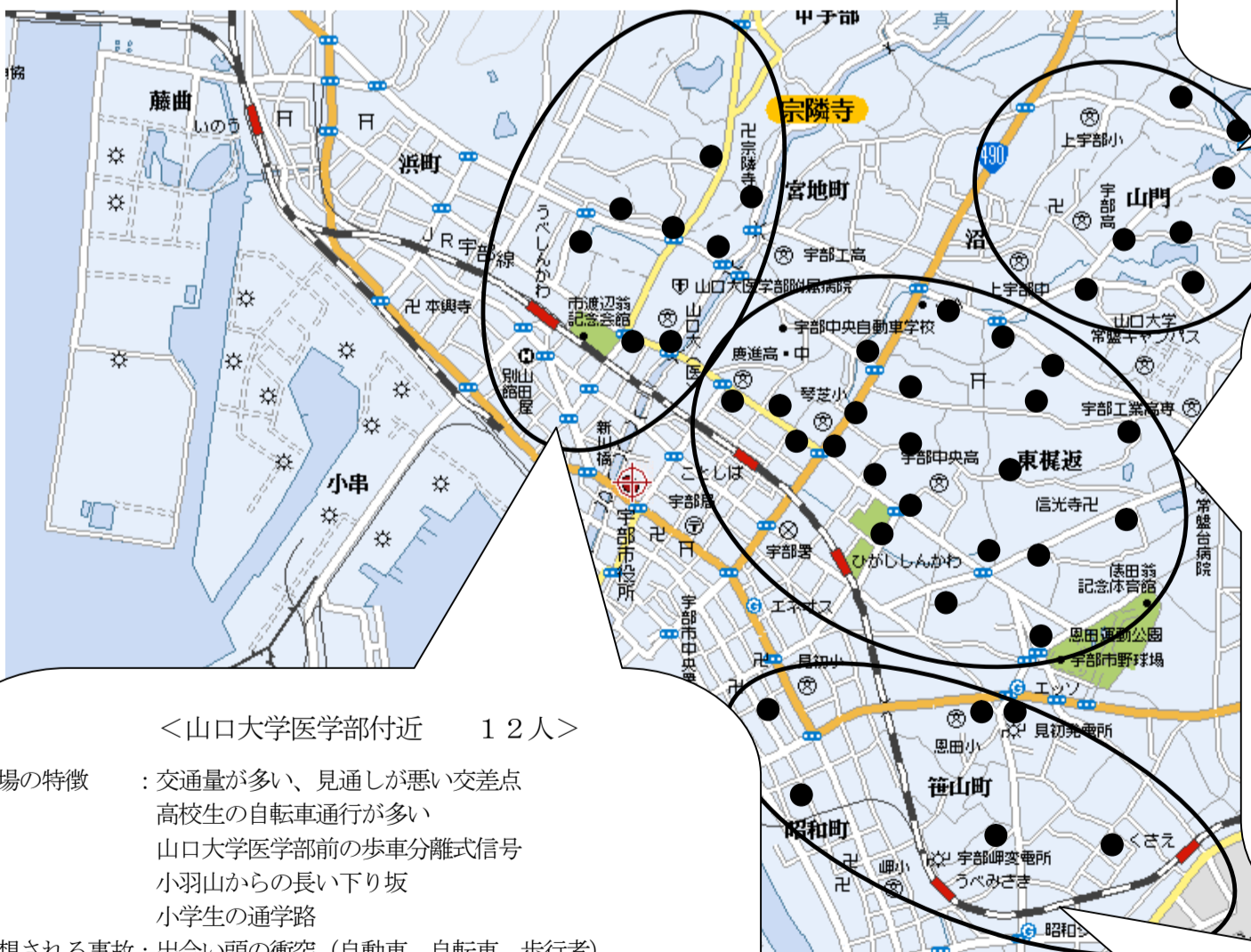
- ① 裏面の地図上に赤ペンで (A) (B) を付けてください。(地図に無い場合は良いです)
- ② 現場の見取り図を書いてください。(目印になる建物や施設を書き込む)

	ケースA	ケースB
内容		
自分側の原因		

資料 2 -

通学路危険箇所マップ① (宇部中央高校付近)

先日のアンケートをもとにして、通学時に危険だと感じたことのある人の人数、現場の特徴、予想される事故、通行の注意事項を示しました。地図中の ● は危険だと思われる場所です。今後通学時に参考にして、事故に遭わない(被害者にならない)、事故を起こさない(加害者にならない)ようにして下さい。



<宇部高校付近 山門地区 12人>

現場の特徴 : 坂道が多い、道が狭い、見通しが悪い
 予想される事故 : 出合い頭の衝突 (自動車、自転車、歩行者)
 スピードの出し過ぎによる転倒、衝突
 通行の注意事項 : 坂道でブレーキを掛けて速度を落とす
 見通しの悪い交差点での一時停止
 狭い道で速度を出さない
 歩行者の飛びだしへの予測

<宇部中央高校付近 44人>

現場の特徴 : 交通量が多い、裏道の路地が狭い、
 見通しが悪い交差点 高校生の自転車通行が多い、
 照明がない道がある 常盤中学からの長い下り坂
 慶進高校前の歩車分離式信号
 予想される事故 : 出合い頭の衝突 (自動車、自転車、歩行者)
 左折する自動車による巻き込み
 横断歩道で右折する自動車との衝突
 スピードの出し過ぎによる転倒、衝突
 通行の注意事項 : 歩道通行時に速度を落とす
 見通しの悪い交差点での一時停止
 坂道でブレーキを掛けて速度を落とす
 右左折する車の状態に気をつける
 狭い道で速度を出さない
 歩行者の飛びだしへの予測
 ライトの早め点灯
 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断

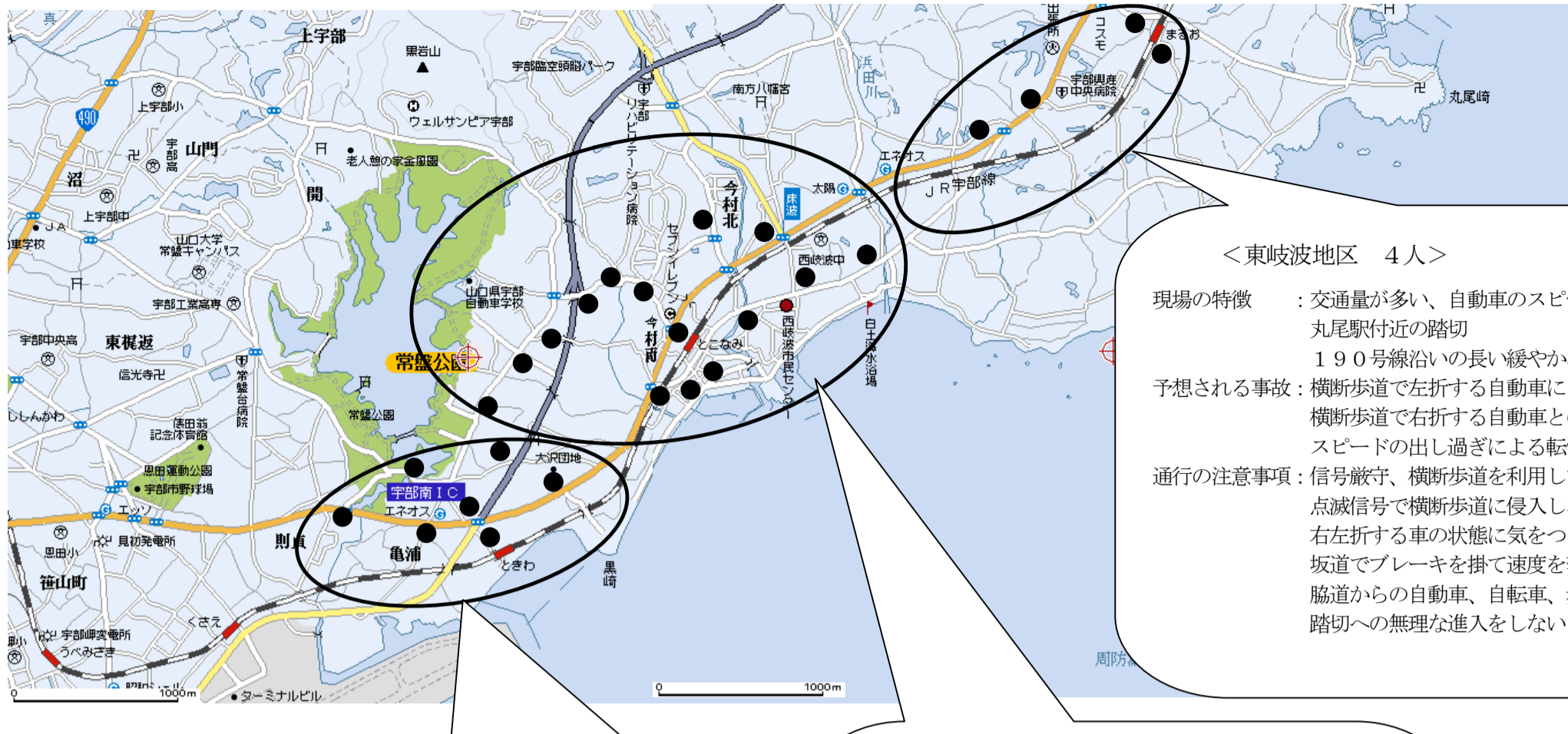
<山口大学医学部付近 12人>

現場の特徴 : 交通量が多い、見通しが悪い交差点
 高校生の自転車通行が多い
 山口大学医学部前の歩車分離式信号
 小羽山からの長い下り坂
 小学生の通学路
 予想される事故 : 出合い頭の衝突 (自動車、自転車、歩行者)
 歩道内での自転車、歩行者との衝突
 左折する自動車による巻き込み
 スピードの出し過ぎによる転倒、衝突
 通行の注意事項 : 歩道通行時に速度を落とす
 見通しの悪い交差点での一時停止
 歩行者の飛びだしへの予測
 歩道が広くても自転車で並進しない
 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断
 坂道でブレーキを掛けて速度を落とす

<宇部岬・草江地区 12人>

現場の特徴 : 道が狭い、狭い路地が多い、
 見通しが悪い、照明がない
 交通量が多い交差点 (長崎チャンメン前)
 予想される事故 : 出合い頭の衝突 (自動車、自転車、歩行者)
 通行の注意事項 : 見通しの悪い交差点での一時停止 右左折する車の状態に気をつける
 狭い道で速度を出さない
 歩行者の飛びだしへの予測 ライトの早め点灯

通学路危険箇所マップ②(常盤・西岐波・東岐波)



<東岐波地区 4人>

現場の特徴 : 交通量が多い、自動車のスピードが出ている
丸尾駅付近の踏切
190号線沿いの長い緩やかな坂道

予想される事故: 横断歩道で左折する自動車による巻き込み
横断歩道で右折する自動車との衝突
スピードの出し過ぎによる転倒、衝突

通行の注意事項: 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断
点滅信号で横断歩道に侵入しない
右左折する車の状態に気をつける
坂道でブレーキを掛けて速度を落とす
脇道からの自動車、自転車、歩行者に気をつける
踏切への無理な進入をしない

<宇部有料道路入り口付近 7人>

現場の特徴 : 交通量が多い、自動車のスピードが出ている

予想される事故: 横断歩道で左折する自動車による巻き込み
横断歩道で右折する自動車との衝突

通行の注意事項: 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断
点滅信号で横断歩道に侵入しない
右左折する車の状態に気をつける

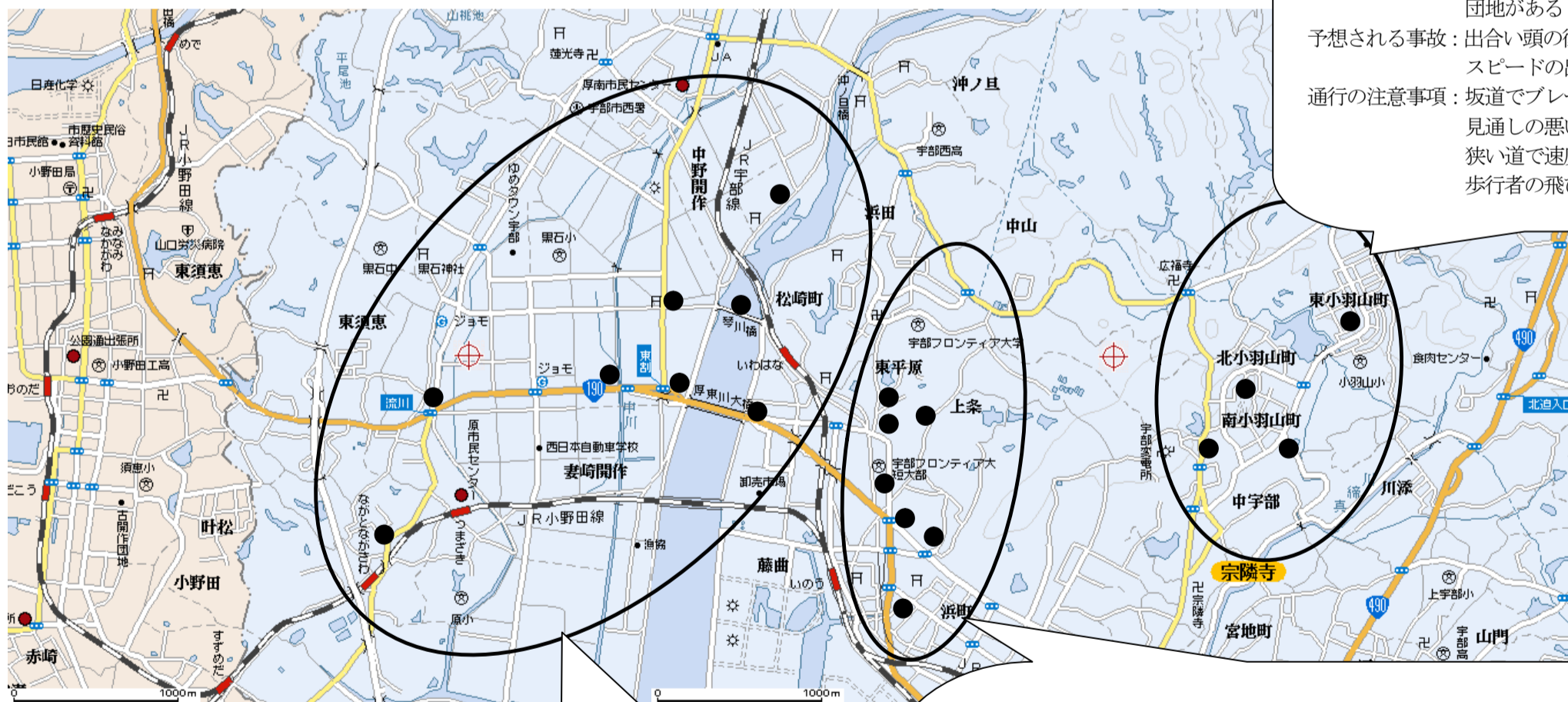
<西岐波地区 17人>

現場の特徴 : 交通量が多い、自動車のスピードが出ている
190号線沿いの長い緩やかな坂道
床波駅付近の狭い道、見通しの悪い路地
岡の辻(宇部自動車学校付近)の坂道
小学生の通学路

予想される事故: 横断歩道で左折する自動車による巻き込み
横断歩道で右折する自動車との衝突
スピードの出し過ぎによる転倒、衝突
出合い頭の衝突(自動車、自転車、歩行者)

通行の注意事項: 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断
点滅信号で横断歩道に侵入しない
右左折する車の状態に気をつける
坂道でブレーキを掛けて速度を落とす
見通しの悪い交差点での一時停止
狭い道で速度を出さない
歩行者の飛びだしへの予測

通学路危険箇所マップ③(藤山・厚南・小羽山)



<小羽山地区 4人>

現場の特徴 : 坂道が多い、道が狭い、見通しが悪い
団地がある 小学生の通学路

予想される事故: 出合い頭の衝突(自動車、自転車、歩行者)
スピードの出し過ぎによる転倒、衝突

通行の注意事項: 坂道でブレーキを掛けて速度を落とす
見通しの悪い交差点での一時停止
狭い道で速度を出さない
歩行者の飛びだしへの予測

<190号線 厚東川付近 8人>

現場の特徴 : 交通量が多い、自動車のスピードが出ている
幅の狭い橋(琴川橋)
厚東川大橋付近の交差点(典礼会館付近)

予想される事故: 横断歩道で左折する自動車による巻き込み
横断歩道で右折する自動車との衝突
狭い道(橋)で追い越す車、すれ違う車との接触

通行の注意事項: 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断
点滅信号で横断歩道に侵入しない
右左折する車の状態に気をつける
後方から接近してくる自動車の音に気をつける

<香川高校付近 7人>

現場の特徴 : 交通量が多い、自動車のスピードが出ている
香川高校付近の裏道の狭い坂道
香川高校から190号線までの歩道のない狭い道
見通しの悪い交差点が多い
高校生の自転車通行が多い
小学生、中学生の通学路

予想される事故: 横断歩道で左折する自動車による巻き込み
横断歩道で右折する自動車との衝突
出合い頭の衝突(自動車、自転車、歩行者)
狭い道(橋)で追い越す車、すれ違う車との接触

通行の注意事項: 信号厳守、横断歩道を利用したの道路横断
点滅信号で横断歩道に侵入しない
右左折する車の状態に気をつける
坂道でブレーキを掛けて速度を落とす
見通しの悪い交差点での一時停止
狭い道で速度を出さない
後方から接近してくる自動車の音に気をつける

平成20年度 交通安全意識調査 集計結果

<交通マナーで気をつけなければならないと感じていることは何ですか？>

	人数
信号を守る	93
周りに気をつける	65
スピードを出しすぎない	42
安全確認をする	18
一旦停止する	16
安全運転を意識する	16
左右の確認をする	14
飛び出しをしない	14
前方をよく見る	13
ながら運転をやめる(携帯など)	11
ウォークマンを聴きながら運転しない	10
青信号でも気をつけて通行する	9
歩行者優先	8
二人乗りをしない	7
横断歩道を渡る	6
無灯火をしない(早めの点灯)	6
傘差し運転をしない	6
自転車と並進しない	6
死角に気をつける(曲がり角など)	5
左側通行を守る	5
交差点での通行に気をつける	5
危ないかもしれないと思って、予測運転をする	4
危険な乗り方をしない	3
早めのブレーキを心掛ける	3
視野を広く持つ	2
自転車の整備点検をする	2
歩道のない道路の通行方法を守る	2
決められた道を通行する	1
周囲の音をよく聞く	1
運転に集中する	1
夜の通行に気をつける	1

交通法規に関して気をつけなければならないと思うこと

	人数
最低限のルールを守る	19
事故に遭わないように気をつける	12
車にひかれない(車に注意する)、車でひかない	10
他者への思いやり	5
自転車で歩行者や自動車の邪魔にならないようにする	5
ゆずりあいの精神	4

個人の心掛け

(3) (1)(2)以外で意識が変わった点

	人数
スピードを出しすぎないようにするようになった	21
周りをよく見るようになった	19
坂道でスピードを出さないように気をつけ始めた(押して通行する)	6
信号無視をやめた	5
携帯電話を使いながら運転しなくなった	5
信号や横断歩道をぎりぎりまで渡らなくなった	4
細い道や入り組んだ道をゆっくり走るようになった(または通らない)	4
交差点で気をつけるようになった	4
ウォークマンを聴きながら運転しなくなった	4
曲がるときの左右確認をするようになった	4
車の動きをよく見るようになった	4
自転車点検をするようになった(反射板を付けた)(サドルの高さを調節した)	3
交通ルールを意識的に守ろうとするようになった	3
安全運転をするようになった	3
信号が青でも注意して進むようになった	2
左右を確認するようになった	2
早めのブレーキを心掛けるようになった	2
ライトをきちんと付けるようになった	1
注意して運転をするようになった	1
きちんと横断歩道を渡るようになった	1
できるだけ歩道を使わなくなった	1
死角を気にするようになった	1
左側通行をするようになった	1
対向自転車に気をつけるようになった	1

交通法規に対する意識変化

	人数
歩行者に気をつけるようになった	10
時間にゆとりを持って家を出るようになった	8
急いでいても、心を落ち着けて運転するようになった	3
飛び出さないようになった	3
子供に注意するようになった(小学生の登校時間とずらして通行するようにした)	3
危ないと感じたとき道を譲るようになった	2
自転車マナーの向上を心掛けるようになった	2
歩行者の立場になって運転するようになった	2
自分中心に行動しないようになった	1
自転車に乗らなくなった	1
歩行者として歩道を歩くとき自転車に気をつけるようになった	1
車の運転者の立場を考えるようになった	1
責任感が強くなった	1
暗い道を通らないようになった	1
誰でも加害者になると思うようになった	1

心掛けの変化

時間に余裕を持つ	4
自転車も加害者になるという意識を持つ	3
人に迷惑を掛けない	3
命の大切さを考えて運転する	3
自分勝手な行動をしない	2
注意力を持つ	2
けがをしないようにする	1
電車でうるさくしない	1
マナーに気をつける	1

<自転車運転についての知識テスト 正解と正答率はこうでした！！>

自転車の運転についてあなたはどのくらい知っていますか？以下の質問に答えてください。

(1) 自転車は自動車やバイクと同じ「車両」の仲間である (はい) いいえ 正答率 91%

(2) 自転車は走る場所は、原則 (歩道) (車道) で (右側) (左側) 通行です。

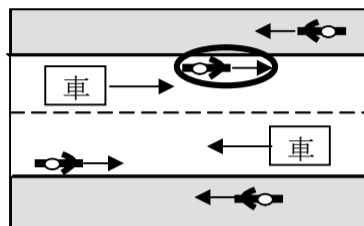
正答率 66%

正答率 80%

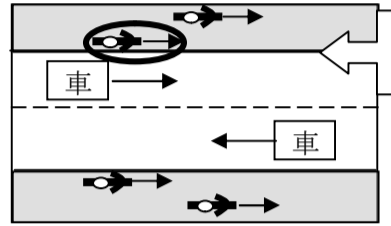
(3) 歩道に次の交通標識がある時、道路交通法上正しく通行している自転車を下の図中に丸で囲んでください。各1つあります。



①歩道の標識 (歩行者専用)



②歩道の標識 (自転車および歩行者専用)



正答率 30%

ただし、交通量が多く車道を走ると危ないと判断したときは、歩道を押して通る。現実的には徐行かもしれません。

基本的には車道を走るとき「車両の仲間」である自転車が歩道を「走らせてもらっている。」という考えで、歩道の車道よりを通行するのです！！

(4) 自転車通行可能な歩道 (3) の②で歩行者の通行を妨げる事となるとき自転車はどうしなければならぬと思いますか。 (一旦停止) 正答率 39%

<緊急交通安全教室後にあなたの意識はどのように変わりましたか？>

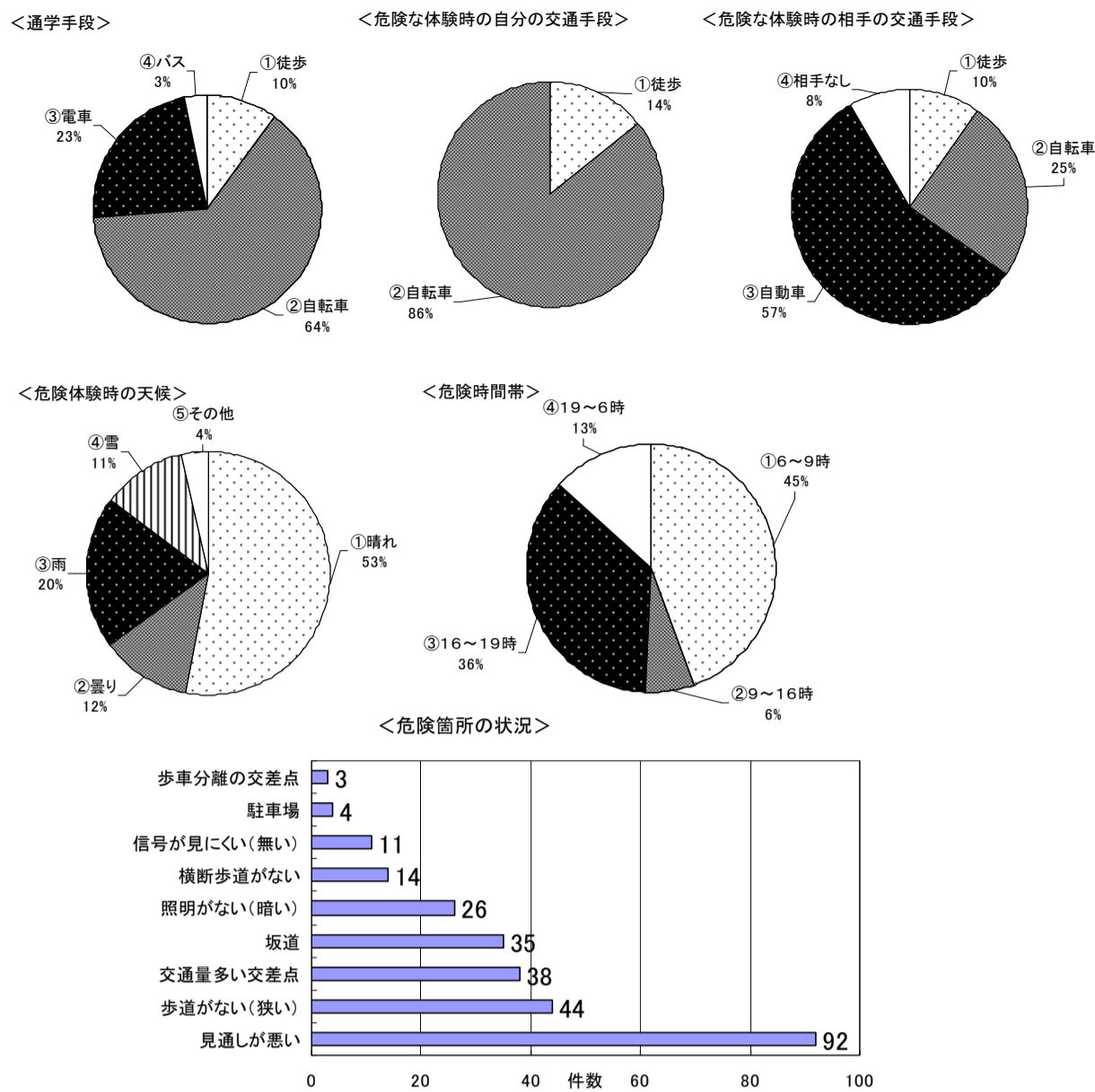
(1) 学校に登校する時間を早めるようにした。 はい いいえ 正答率 38% 62%

(2) 自転車にTSマークを貼った。 はい いいえ 正答率 16% 84%

<まとめ>

- ① 普段利用している自転車の通行に関して意外に知らないことがある。
- ② 交通ルールについて「守らなければいけない」ことは知っているけど、実際に「守れていない」ことが多くある。「このくらいいいか」という軽い気持ち、「自分は大丈夫」という他人事のような考えが原因。
- ③ 1月に実施した緊急交通安全教室以後「ルールを守ろう」という意識「事故に遭わない、事故を起こさない」という意識をもつ人が増えた。

平成20年度 通学路危険箇所調査 集計結果



＜危険箇所調査でわかったこと＞

- 危険体験のほとんどは自転車乗車中です。
- 自動車と衝突して事故被害者になる可能性が高いです。57%
- 自転車、歩行者と衝突して事故加害者になる可能性も軽視できないくらい高いです。35%
- 天候は晴れの日が多いですが、わずかしかないうちに危険な経験をした人が20%いることから、やはり雨の日の自転車運転には注意が必要です。いつもより速度を落として、カッパを着て運転してください！！重大事故が起こる可能性が非常に高いです。
- 危険時間帯は交通量が多い朝であり、登校の時間と重なっています。ゆとりを持った安全運転が必要です。
- 「見通しが悪い道」、「狭い道」、「交通量の多い交差点」、「坂道」が特に危険です。事故に遭わないための心がけとして、速度をゆるめる。脇道があるときは一旦停止をする。横断歩道に慎重に進入する。などが重要です。

＜危険な状況の原因＞

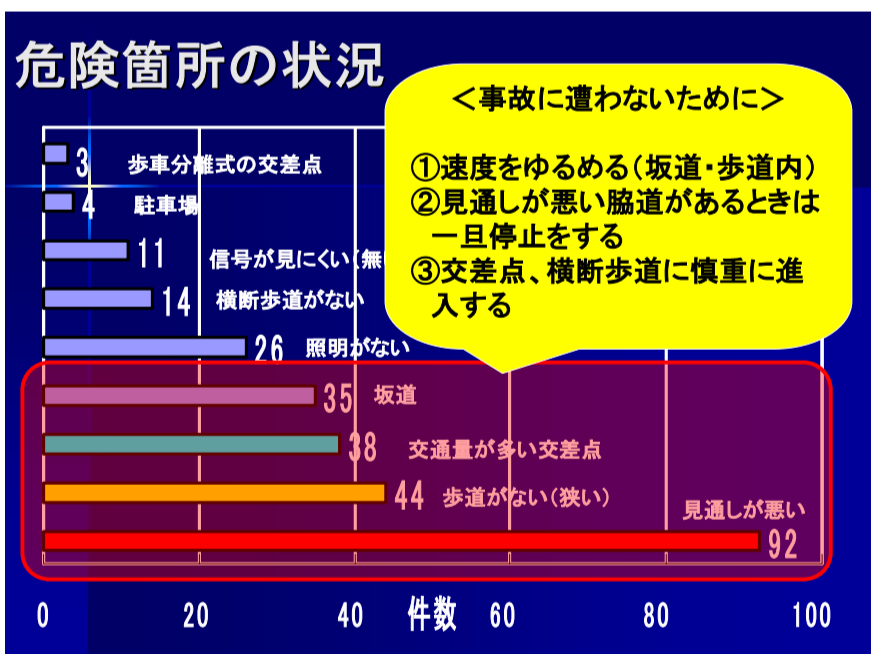
危険な状況の主な原因	件数
車の運転手の交差点での(信号無視(無理な進入(安全確認不足)(左折時の巻き込み)	27
車の運転手が狭い道から出てくるとき一旦停止をしなかった	18
車の運転手がよそ見をしていた(左右の確認をしていなかった)	7
狭い道ですれ違う、(追い越す)自動車と接触しそうになった 運転手が歩行者・自転車を優先しなかった	7
狭い道を自転車がスピードを出して通っていた	4
相手の自転車が無灯火だった	4
歩道を自転車が並進してきた。	3
坂道で相手が自転車でスピードを出していた	3
歩行者が急に飛び出してきた	3
歩車分離式交差点での車の見込み発進	3
自転車が歩行者を優先せずに歩道を走る	2
狭い踏切を渡るとき車と接触した。車が自転車、歩行者を優先しなかった	2
車の運転手が携帯電話を使用しながら運転していた	1

危険な状況の主な原因	件数
見通しの悪い曲がり角でスピードを出していた	18
狭い路地から大きい通りに出るとき一旦停止をしなかった	16
前ばかりを見ていて周囲に注意を払っていなかった	12
坂道で自分が自転車でスピードを出していた	12
スピードを出して自転車を運転していた	12
前方を見ていなかった	11
横断歩道を渡るとき油断していた(周囲への注意をしていなかった)	9
無灯火で運転していた	6
歩道のない狭い道の真ん中を自転車で走っていた	6
遅刻しそうに急いでいた	6
進路変更時の後方確認をしなかった(歩行者をよける、車道に降りる、狭い道路の斜め横断)	3
狭い歩道を自転車で走っていた	3
点滅信号で横断しようとしていた	3
左右を確認しないで信号のない横断歩道を渡ろうとした	2
自転車で右側通行していた	2
相手が傘差し運転だった	2
ぼーっとして運転していた	2
歩道を広がって歩いていた	1
自転車で信号無視をした	1
音楽を聴きながら運転していた	1
歩道で前方を走る自転車を追い越そうとしてぶつかった	1

＜交通事故に遭わない、交通事故を起こさないための3つのポイント＞

- ①交差点での車の動きに注意！！横断歩道は絶対安全というわけではない！！かなり危ない！！
- ②見通しの悪い脇道、曲がり角では、車・自転車・歩行者が出てくるかもしれないので減速する！！
- ③坂道でスピードを出さない！！

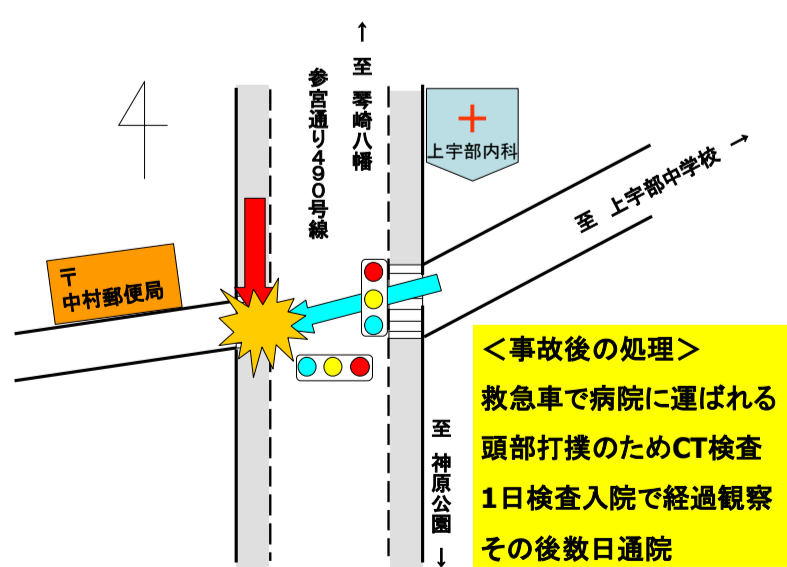
資料4



資料5

ケース②

- 日時 平成20年2月4日 8:20 登校中
- 場所 中村郵便局付近の横断歩道(信号無し)
- 自分・・・自転車 相手・・・自動車
- 状況・・・横断歩道通行中に左から来た自動車にはねられる(体が飛んだ)
- 原因・・・自動車の運転者が左右の安全確認をしなかった



<資料6>


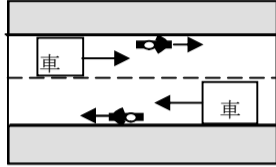

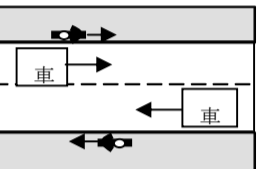
道路交通法の改正について知っていますか?? 平成20年6月4日

平成20年6月1日より道路交通法が改正されました。自動車の運転に関してだけでなく、**自転車の運転**についてもいくつか改正されました。よく理解して、自転車運転者としての義務と責任を果たし、「**事故に遭わない、事故を起こさない**」ようにしましょう。


1. なぜ改正されたのか

近年、自転車事故が増加するとともに、自転車が歩道が無秩序に通行している実態があります。交通社会の中で強者（歩行者に対して）であったり、弱者（自動車に対して）であったりする自転車の宙ぶらりんな立場が、自転車運転の無秩序状態を生み出し、事故の原因になっていたため、自転車が状況に応じて、**どこをどのように通ればいいのか**をはっきりと法律で定めようと言うことなのです。

2. 自転車安全利用五則

- 1 自転車は、**車道通行が原則、歩道通行は例外**
- 2 車道では**左側**を通行
 歩道にこの標識があるとき

- 3 歩道は**歩行者が優先**で、自転車で歩道を通行する場合は**車道よりを徐行する**
 歩道にこの標識があるとき

- 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子供はヘルメットを着用

3. 自転車の歩道通行に関する改正点



これまではこの標識がある歩道の自転車通行は禁止されていました。

➔

改正

児童（6歳以上13歳未満）、幼児（6歳未満）、70歳以上の高齢者体の不自由な人が自転車を運転する場合は歩道を自転車で通行してよい。

従って、**君たち高校生は原則ダメです!!**

ただし、「車道の状況が自転車の安全通行にとって危険な場合は通行してもよい!」と法律に正式に記載されました。

注意! 歩道を通行する場合は徐行すること。
歩行者がいないときは、歩道の状況に応じた安全な速度と方法で通行しなければなりません。

4. 「普通自転車通行指定部分」での歩行者と自転車の通行方法に関する改正点

「普通自転車通行指定部分」とは、右図のように、普通自転車が通行すべき部分が道路標示で指定された部分をいいます。普通自転車を運転する人は、「普通自転車通行指定部分」があるところでは、その部分を徐行して通行しなければなりません。ただし、その部分を通行し、又は通行しようとする歩行者がいないときは、歩道の状況に応じた安全な速度と方法で通行することができます。また、歩行者は、「普通自転車通行指定部分」があるところでは、その部分をできるだけ避けて通行するように努めなければなりません



5. 自転車の安全利用に関するもの（禁止規定や罰則は都道府県で定めます）

- 走行上の注意（やめるべきこと）
- 携帯電話の通話や操作をしたり、傘を差したり、ものを担いだりすることによる片手での運転
 - ヘッドフォンの使用などにより周囲の音が十分聞こえないような状態での運転

<都道府県ごとに決められている罰則>

- 二人乗り・・・2万円以下の罰金
- 傘差し運転・・・5万円以下の罰金
- 並進・・・2万円以下の罰金
- 無灯火・・・5万円以下の罰金
- 信号無視・・・3ヶ月以下の懲役又は5万円以下の罰金

今後、携帯電話使用やヘッドホン使用をしながらの運転に対しても罰則化の動きがあります!!

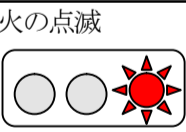
<資料7 - 1>

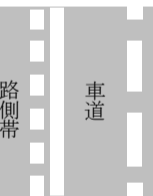


宇部中央高校 自転車交通安全 実力テスト

()年()組()番 氏名()

1 交通規則テスト

次の問題について、正解の番号を解答用紙に記入しなさい。

問1 普通自転車の車体の大きさや構造で、正しいのはどれですか。
1 側車を付けていないこと。 2 長さ190cm以下、幅70cm以下であること。 3 二輪、三輪及び四輪の自転車であつて他の車両をけん引していないものであること。
問2 TSマークについて、誤っているのはどれですか。
1 普通自転車の点検整備の基準に適合した普通自転車には、点検整備済TSマークが貼付されることになっている。 2 TSマークには、点検日から3年間有効の死亡・重度後遺障害にたいする賠償責任・傷害保険がついている。 3 自転車整備店には、自転車安全整備技能検定合格者である自転車整備士がいて、普通自転車の点検整備基準に従って点検及び整備を行う。
問3 図の信号機のように、赤色の灯火の点滅の意味について、正しいのはどれですか。
1 自転車は他の交通に注意して進むことができる。  図 赤色灯火の点滅 2 歩行者は他の交通に注意して進むことができる。 3 自動車は他の交通に注意して進むことができる。
問4 自転車の正しい乗り方について、誤っているのはどれですか。
1 犬などの動物を引きながら（散歩させながら）自転車に乗っても良い。 2 酒を飲んだときや疲れが激しいときは、乗ってはいけない。 3 下駄やハイヒールをはいて乗ってはいけない。
問5 信号や標識について、正しいのはどれですか。
1 自転車は、必ず歩行者用の信号に従わなければならない。 2 標識や標示によって行われる交通規制は、自動車に関するものであるから、自転車は従ってはいけ ない。 3 信号は、前方の信号に従わなければならない。横の信号が赤であっても、前方の信号が青であると は限らない。
問6 警察官の手信号が信号機の信号と違っていたときの通行方法について、正しいのはどれですか。
1 警察官の信号でも、信号機の信号でも、どちらに従ってもよい。 2 信号機に従わなければならない。 3 警察官の手信号に従わなければならない。
問7 自転車の反射器材の意味で、正しいのはどれですか。
1 反射器材は、赤色かだいだい色である。 2 反射器材は、尾灯と同じく夜間200m後方から自動車のライトで照らしたとき、よく見えなけれ ばならない。 3 反射器材は、自転車の後方だけに必要で、よく目立つようにする。

問8 合図（自転車運転時の手信号）について、正しいのはどれですか。
1 停止の合図は、「手のひらを下にして、右腕を横に水平に出す」ことである。 2 右折の合図は、「右腕を斜め下に出す」ことである。 3 左折の合図は、「右腕のひじを垂直に上に曲げる」ことである。
問9 自転車に乗って通ることのできない路側帯（車道の左端にある白線の内部）はどれですか。
1  2  3 
問10 横断の仕方、誤っているのはどれですか。
1 横断や転回しようとする場合、近くに自転車横断帯や横断歩道があるときは、必ずそこを通るよ うにする。 2 横断歩道を利用するときは、自転車に乗って横断しても、降りて押して横断してもよい。 3 斜め横断は危険なので、絶対にやらないこと。
問11 自転車の走行上の注意で、正しいのはどれですか。
1 車のすぐ後ろに続いたり、また、それにつかまって走ったりしてはいけない。 2 自転車は、小さいので2台まで並んで走ることができる。 3 昼間は、トンネルや濃霧の中などでは、ライトをつけなくてもよい。
問12 自転車に乗るときの服装で、誤っているのはどれですか。
1 日差しが強い日はまぶしいので、つばの大きな帽子をかぶって乗るようにする。 2 ズボンのすそは、しばるか、専用のピンなどで止めて乗る。 3 夜間は、反射材の付いて明るい目立つ色の衣服を着て乗る。
問13 からだにあった自転車についての説明で、正しいものはどれですか。
1 ハンドルを握ったとき上体が少し後ろに傾くのがよい。 2 自転車の大きさは、ペダルからサドルまでの高さで合わせなければならない。 3 サドルにまたがったとき両足先が地面に付くのがよい。
問14 図の道路標示があった場合の交差点の通行方法で、誤っているのはどれですか。
1 普通自転車は、前方の信号にかかわらず左折することができる。 2 普通自転車は、標示を越えて交差点に入っていくべき。 3 普通自転車は、左側の歩道に乗り入れ、自転車横断帯を通過して交差点を渡る。 
問15 自転車の駐車場所で、正しいのはどれですか。
1 自転車を駐車するときは、駐車禁止以外の場所ならどこに置いてよい。 2 駅前などで自転車駐車場があるときには、必ずそこに駐車するとよい。 3 自転車は、駐車違反がないので、歩道や車道関係なく都合の良い場所に駐車してもよい。
問16 自転車に荷物を積んで乗るときの注意で、正しいのはどれですか。
1 荷台に乗せた荷物が大きいときは、荷物が落ちないように片手でささえながら乗る。 2 野球のバットや釣り竿は、そのまま荷台にしっかりと固定する。 3 荷物は片寄り、歩行者の迷惑にならないように固定する。

問 1 7	自転車のブレーキについての説明で、正しいのはどれですか。
1	ブレーキは時速10km のとき、ブレーキをかけてから1m 以内で止まらなければならない。
2	ブレーキは時速10km のとき、ブレーキをかけてから3m 以内で止まらなければならない。
3	ブレーキは時速10km のとき、ブレーキをかけてから5m 以内で止まらなければならない。
問 1 8	自転車に乗る前の心がけで、誤っているのはどれですか。
1	自転車の運転は気持ちいいので、目的も決めずに気の向くまま運転してもよい。
2	自転車は車両の仲間であり、歩行者を優先する気持ちを持つ。
3	自転車に乗る前には、必ず自転車の点検をする。
問 1 9	踏切での自転車の安全な通行方法について、誤っているのはどれですか。
1	警報機が鳴っていないときや、遮断機が下りていないときには、左右の安全を確認する必要はない。
2	一方からの列車が通り過ぎても、すぐ反対方向から別の列車が来ることもあるので、もう一度左右を確認する必要がある。
3	踏切の手前で一時停止をし、左右の安全を確認した後、自転車を押して渡る。
問 2 0	図の信号機のように、青色の灯火の矢印の意味について、正しいのはどれですか。
1	自転車は、矢印の方向に進むことができる。
2	自転車と自動車は、矢印の方向に進むことができる。
3	自動車は、矢印の方向に進むことができる。

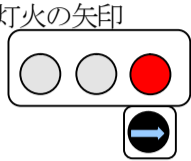


図 青色の灯火の矢印

2 道路標識テスト

次は道路標識などの意味の問題です。
意味の正しいものを一つ選び、番号を解答用紙に記入しなさい。

1		1 車両は、左方向以外の方向に進んではいけない。 2 この先の道路は、左側に曲がっている。 3 左側からの車両や歩行者に注意しなければならない。
2		1 この先、駅がある。 2 この先、踏切がある。 3 この道路は、路面電車が通行する道路である。
3		1 横断歩道・自転車横断帯がある。 2 この道路は、歩行者と自転車の専用道路である。 3 この道路は、自転車を押して通らなければならない。
4		1 この先、車両は、通行することができる。 2 この先、V形道路がある。 3 安全地帯である。
5		1 この道路は、優先道路である。 2 この道路は、一方通行である。 3 この先、十字型交差点がある。

6		1 二輪の自動車及び原動機付自転車は、通行することができない。 2 二輪の自動車だけは、通行することができない。 3 原動機付自転車だけは、通行することができない。
7		1 近くに、学校、保育園や幼稚園がある。 2 ここは、歩行者だけが通行することができる道路である。 3 この先、公園がある。
8		1 大型の車両だけは通行してはいけない。 2 車両は、通行してはいけない。 3 車両は、駐車してはいけない。
9		1 歩行者は、一時停止しなければならない。 2 自転車は一時停止しなくてもよい。 3 自転車も一時停止しなければならない。
10		1 自転車2台が並んで通行することができる。 2 自転車2台が並んで通行しなければならない。 3 自転車2台以上が並んで通行することができる。
11		1 この先、右方向の曲がり角がある。 2 この先、右方向のカーブがある。 3 この先、ジグザグ道がある。
12		1 左折することができる。 2 一方通行である。 3 この先、警察署である。
13		1 車両は、駐車してはいけないが、停車することはできる。 2 車両は、停車も駐車もしてはいけない。 3 車両は、この道路に進入してはならない。
14		1 自転車は、この道路を通行してはいけない。 2 自転車は、駐車してはいけない。 3 自転車は、歩道を通行することができる。
15		1 この先、橋がある。 2 この先、行き止まりである。 3 この先、T形道路交差点がある。
16		1 ここは、自転車駐車場である。 2 この先、自転車横断帯がある。 3 この道路は、自転車専用道路である。

< 資料 7 - >

17		1 近くに公園がある。 2 車両を停車することができる。 3 車両を駐車することができる。
18		1 この先、信号機がある。 2 この先、道路工事現場がある。 3 この先、横断歩道がある。
19		1 この先、自動車は進入することができる。 2 この先、自転車は進入することができる。 3 この先、全ての車両は進入することはできない。
20		1 歩行者は、道路を横断してはいけない。 2 この先、横断歩道がある。 3 この先、歩行者専用道路がある。

10	歩道を通るときは、徐行しなければならない。また、歩行者の通行を妨げそうになるときも、徐行しなければならない。
11	自転車も自動車と同じ車両の一種であるため、法律により期間を定めて定期的に検査を受けなければならない。
12	自転車は、車道を通るときは、道路工事などの場合を除き、車道の左端に沿って通行しなければならない。
13	自転車の二人乗りは禁止です。ただし、大人の人が幼児用の座席に幼児を一人乗せているときは別である。
14	ペダルの踏み方は、正しい踏み方、正しい力の入れ方の二つを知っておかなければならない。
15	自転車を停止するときは、後方の安全を確認早めに合図を行い、静かに後輪のブレーキをかけてじゅうぶんに速度を落としながら、道路の左端に沿って左足を地面につけ停止し、左側に降りるようにする。
16	狭い道路から広い道路に出るときは、出来るだけ一時停止をして安全を確認するようにする。
17	止まっている自動車のそばを通るときは、急にドアが開いたり、自動車のかけから歩行者が飛び出してきたりすることがあるので、注意して十分速度を落とさなければならない。
18	自動車はカーブするときに生ずる「内輪差」といわれる前輪が通ったところよりも、後輪は外側を通ることを知っておかなければならない。
19	自動車は、私たちが目で見たり、感じたりするよりも、速く走っているものである。
20	道路はみんなが使うところだから、まわりの歩行者や車の動きに注意して、相手の立場になって、思いやり、ゆずり合いの気持ちを持たなければならない。

3 自転車の安全な乗り方テスト

次の問題について、正しいものには○印、誤っているものには×印を解答用紙に記入しなさい。

1	手さげカバンなどの大事なものは、盗まれてはいけないので自分の肩にかけて自転車に乗らなければならない。
2	自転車は車両の一種で道路を通行する場合は車両としての交通の決まりやルールを守らなければならない。
3	前照灯(ライト)は、自分の進行方向を照らすのみに必要なものである。
4	ベルやブザーなどの警報器はできれば、ハンドルを持った手をあまり動かさずに鳴らすことのできる位置(普通の場合は、左ハンドルの手元)に取り付けるのがよい。
5	一歩通行の道路でも、緊急自動車が近づいてきたときは、必ず左端によって一時停止しなければならない。
6	信号機などにより交通整理の行われている交差点で右折する場合は、あらかじめ、その前からできる限り道路の中央によって、交差点の中心付近を徐行しなければならない。
7	踏切では、必ず手前で安全を確認し、停止の合図をしてから降りて左右の安全を確認、自転車を押して渡らなければならない。
8	ヘルメットをつけて自転車に乗ることは、安全のために大切なことである。
9	路面が凍り付いているときや風雨が強くなってきたときは、自転車に乗ったまま早く家に帰るようにする。

題材	自転車乗車車における、交通量の多い信号のある交差点を横断する際の危険		
題材設定の理由	交通量の多い交差点で交通事故にあうと、重大な被害を受ける可能性が高い。生徒の命を守るためにも本題材を設定した。		
指導のねらい	交通事故のほとんどは交差点内で発生している。交差点には様々な危険が潜んでいるのだが、信号のある交差点を横断する際、「信号があるから安全」「自動車は自分の存在に気付いている」と思いこみ、自動車に対する注意を怠ってしまう傾向がある。信号の表示のみを信じるのではなく、自分の目で安全確認をする必要があることを理解させる。		
事前の準備	交通場面の前景図 (各生徒に1枚 (白黒)、黒板に掲示用1枚 (カラー)) 解答用の俯瞰図 (事故になった場面と事故を回避した場面を各班に配布) 班編制 (一班5～6人) 班の中での司会者・書記の決定		
	指導	学習活動	指導上の留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時目的と内容 資料の配付と利用方法 学習活動の流れ 	<ul style="list-style-type: none"> 机を合わせて班を編成し着席させる。 司会者と書記の役割を確認させる。 活発に意見を出し合うようにさせる。
展開	40分	<ol style="list-style-type: none"> 場面の読み取り 道路交差点の 前景図を見て交通状況をできるだけ詳細に把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会者の積極的な進行を促す ワークシートを活用させる どのような意見も受け入れ、楽しく意見交換ができる雰囲気となるように配慮する。 読みの鋭い意見に注目させる
		<p><予想される主な発言内容></p> <p>信号待ちの女性がいる。 トラックが左折使用している。 交差点内の白い車が右折しようとしている。 接骨院の曲がり角の見通しが悪い。 自転車横断帯がある。 交通量の多そうな大きい交差点である。</p>	
	2. 危険の予測 (場面分析その1: 潜在危険も予測する)	<ol style="list-style-type: none"> この交通状況から予測される危険を各自が個人用ワークシートに書き込み、それを司会者を中心に発表し合い、書記がまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 前景図に見えていても気づかないところがあるので場合によっては気づくような誘導的な発問も効果的である。 潜在的な危険も予測させる (自他の心理状況も読み取らせる) 「うっかり」「ぼんやり」「あせり」「安全との思いこみや勘違い」 どのような発表も尊重する。
		<p><予想される主な発言内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 信号待ちの女性が自転車の存在に気付いていないかもしれないので接触する危険性がある。 接骨院の曲がり角が見通しが悪いので、左から来た歩行者や自転車と衝突する危険性がある。 トラックの運転手が自転車の存在に気付いていないかもしれないので、左折時に巻き込まれる危険性がある。 右折の自動車の運転手は早く曲がりたいため、自転車の存在に気付かず左折をし、横断歩道上ではねられる危険性がある。 	

3. 最も起こりやすい重大な危険を絞り込む (場面分析その2)	<p>2で予測した危険の中、最も起こりやすくして重大な危険と思われるものを1位に、他の危険については3位程度まで、司会者を中心に話し合っ出て出し、書記がその順位をワークシートに書き込む。</p> <p>また、最も重大な危険を1つに絞る課程では、お互いにその理由についても話し合い、理解しあう。</p>
---------------------------------	---

4. 危険回避方法の検討と最適回避方法の選定 (仮説設定) 回避方法を考える。	<p>3で1位とした危険について、その危険の回避方法を司会者を中心に話し合い、書記がその方法をワークシートに書き込む。</p>
---	--

<p><最適回避方法の中に含まれて欲しいキーワード></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分 (自転車) は車が横断歩道の前で止まってくれると思っている。 自分 (自転車) は信号が青だから横断歩道は安全と思っている。 トラックの運転手が自転車の存在に気付いていないかもしれない。 右折しようとしている自動車の運転手は左折しようとしているトラックに気をとられ、自転車の存在に気付いていないかもしれない。 横断歩道進入前に速度を落とし右左折する車の状況をよく見て、自動車をやり過ぎてから横断を開始する。 相手が気付いていると思いきい自分で自分が優先と考えない
--

5. 各班のまとめの発表と質疑応答及び模範解答と事故事例の紹介	<p>5. 各班の書記がまとめを発表し、質疑応答を通じて、その内容の理解を深め、安全の図り方を身につける。また、危険回避方法の有効性についても再確認し、交通場面で実践できるように心がける。</p>
まとめ	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> 模範解答と事故になった場合の俯瞰図を示し安全走行についての意識を高める。

その他参考事項

- ごく身近に危険があることに気づかせる。
- 自転車も車両であり常に事故は起こる危険性があることを理解させる。
- 危険予測や他人への思いやりがいかに事故を防げるか理解させる。
- 今まで、びっくりにした経験などを生徒から聞いて学習を深める。

資料 9

題 材			
年 組 班	グループ名	司 会 者	書 記
			メンバ ー
学習段階	学習項目	解答・意見・考察・感想等	
第1段階	・交通状況の読み取り 「この場面には何が見えますか」 「見えない所には何があると思いますか」 「よく観察して発表しましょう」	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
		⑥	
		⑦	
第2段階	・危険の予測 「この場面では次にどのような危険が起きると思いますか」 「その理由についても話し合しましょう」	順位	理由
		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
第3段階	最も起こりやすく、重大な危険の選定 ・危険回避方法の検討と最適回避方法の選定 「1位とした危険を回避するにはどうしたらよいでしょうか」 「いくつかある回避方法の中で、最も適切と思う回避方法はどれでしょうか。その番号に◎印しましょう」	第2段階で記入した危険の中から選び、上位1位～3位まで左側の枠の中に順位をつけてください。	
		①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
		⑥	相手から自分はどう見えただのか、自分の存在をどう相手に伝えればよいかについても考えてみましょう
第5段階	安全行動の実践化 (行動目標を決める) 「どうしたら安全な行動をとれるか意見を出し合い、実践しましょう」	①	
		②	
		③	

資料 1 0

K Y T 学習 (危険予測学習)

今あなたは自転車に乗って信号のある交差点を直進しようとしています。

前方の信号は青です。

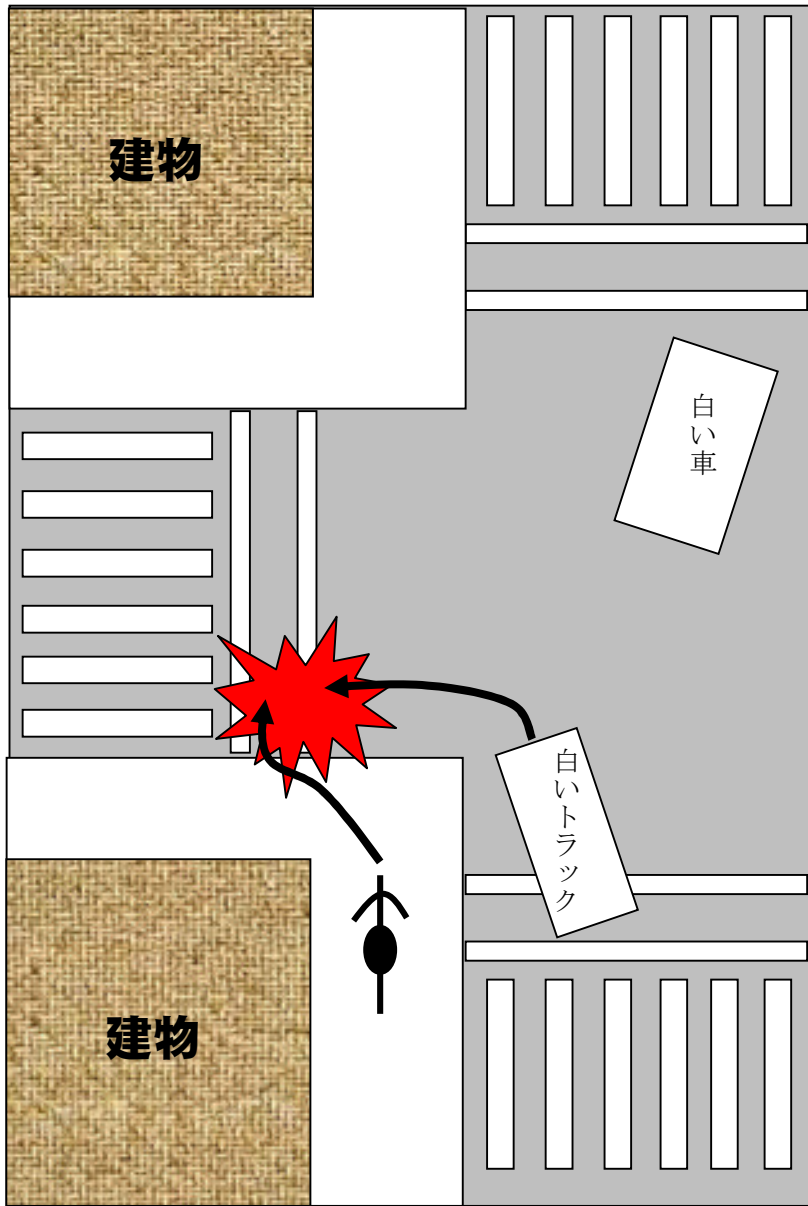
この後どのような危険が予想されますか？



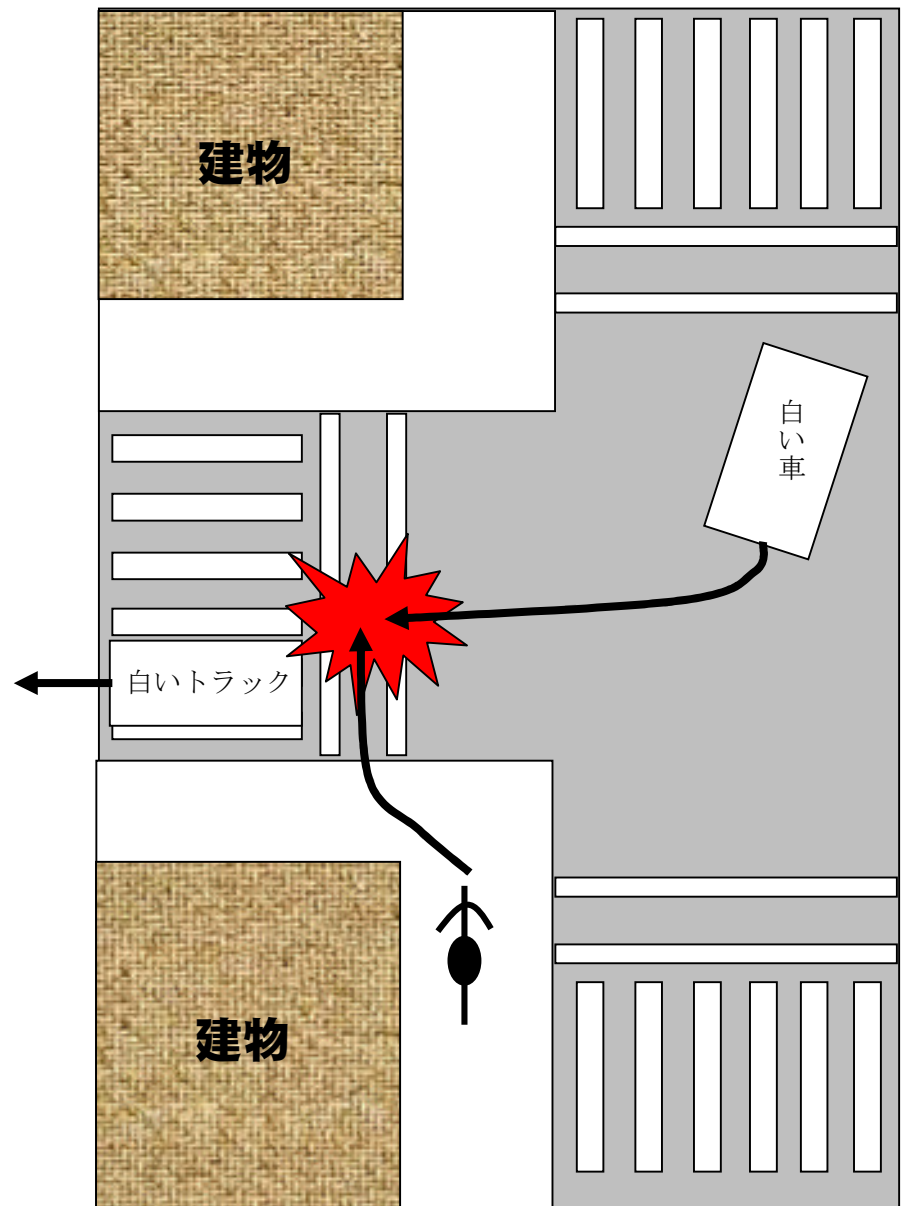
資料 1 1

事故にあった場合の俯瞰図（3つのケース）

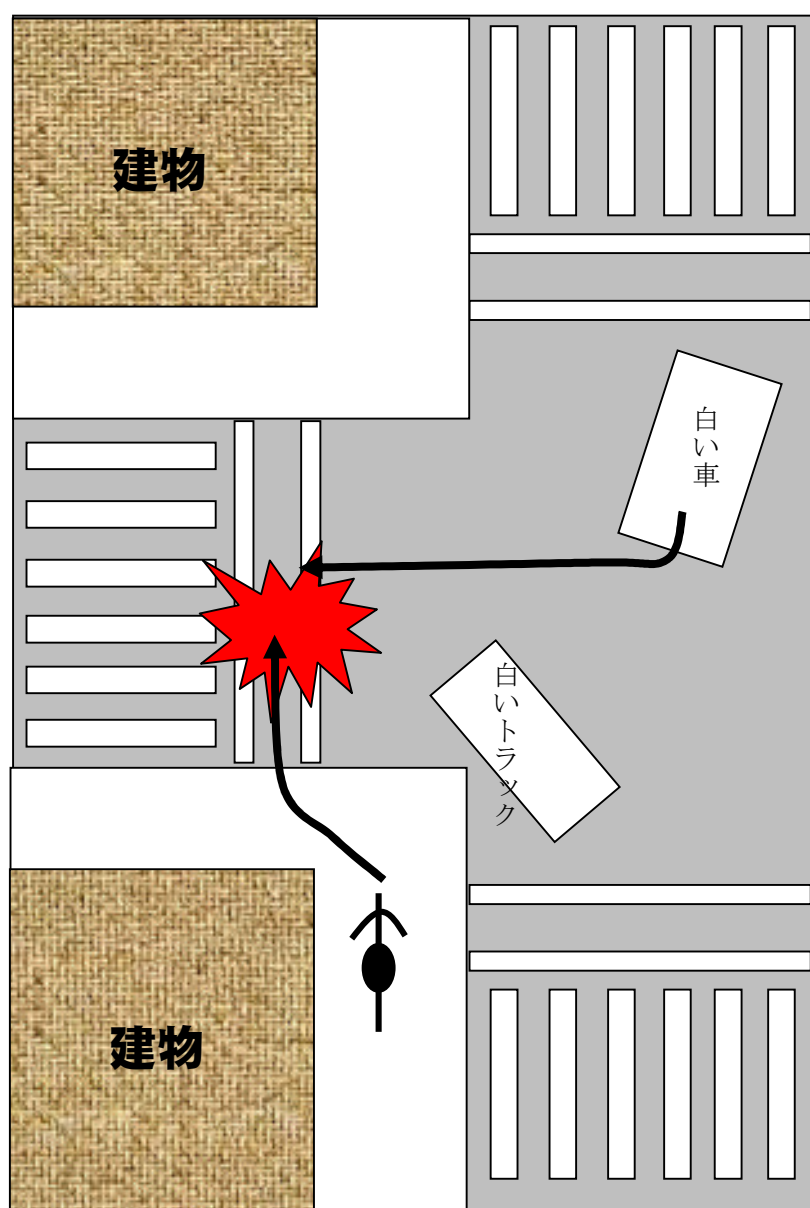
ケース① 左折車の巻き込み



ケース② 左折車をやり過ごした後の右折車との衝突



ケース③ 左折車が自分を待ってくれた後の右折車との衝突



資料 1 2

交通安全に関するアンケート

() 年 () 組 男 ・ 女

Q1 あなたは学部中央高校が今年、交通安全教育にちからを入れていたことを知っていましたか。

ア はい イ いいえ

Q2 今年の交通安全に関する活動の中で印象または記憶に残っているのは次のどれですか。3つ選んでください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| ア 自転車安全点検 (Tマーク) | イ 4月の交通安全キャンペーン |
| ウ 地区別集会 | エ 交通安全実力テスト |
| オ 自転車安全運転競技会 | カ 交通安全キーホルダー作り |
| キ 保育実習での紙芝居 | ク 美術でのポスター作り |
| ケ 夏休みの国語の宿題 (標語) | コ 赤青黄色の交通安全のぼり旗 |
| サ 秋の交通安全キャンペーン | シ 危険予測学習 (KYT) |
| ス 交通安全教室 | セ 交通安全看板 (標語を書いた物) |

Q3 あなたは、今年はいくらよりも交通安全に気を付けていたと思いますか？

- ア とてもそう思う イ そう思う ウ あまり変わらない
エ そう思わない オ 全く思わない

Q4 あなたは交通ルールを守っていますか？

- ア いつも守っている イ だいたい守っている
ウ あまり守っていない エ 守っていない

Q5 あなたの交通ルールを守る姿勢やマナーに点数を付けるとしたら 100 点満点で何点ですか？

去年まで	点	➡	現在	点
------	---	---	----	---

Q6 自転車運転中にあなたが交通事故に遭わない、また交通事故を起こさないためにはどのようにすればよいと思いますか。

Q7 次の行為のうち、あなたが自転車運転で危険だと思うものを選び、○印を入れて下さい。いくつでもかまいません。また、あなたが今年4月から今日までやったことがある行為に○印を入れて下さい。いくつでもかまいません。

	行 為	危険と思う	実際にやった
ア	二人乗り		
イ	無灯火		
ウ	傘差し運転		
エ	並んでの運転		
オ	信号無視		
カ	一時不停止 (飛び出し)		
キ	スピードの出し過ぎ		
ク	携帯電話をかけたがらの運転		
ケ	音楽を聴きながらの運転		

Q8 あなたは今年4月から今日まで交通事故 (加害者・被害者どちらでも) に遭ったことがありますか？

ア ある…… 回 イ ない

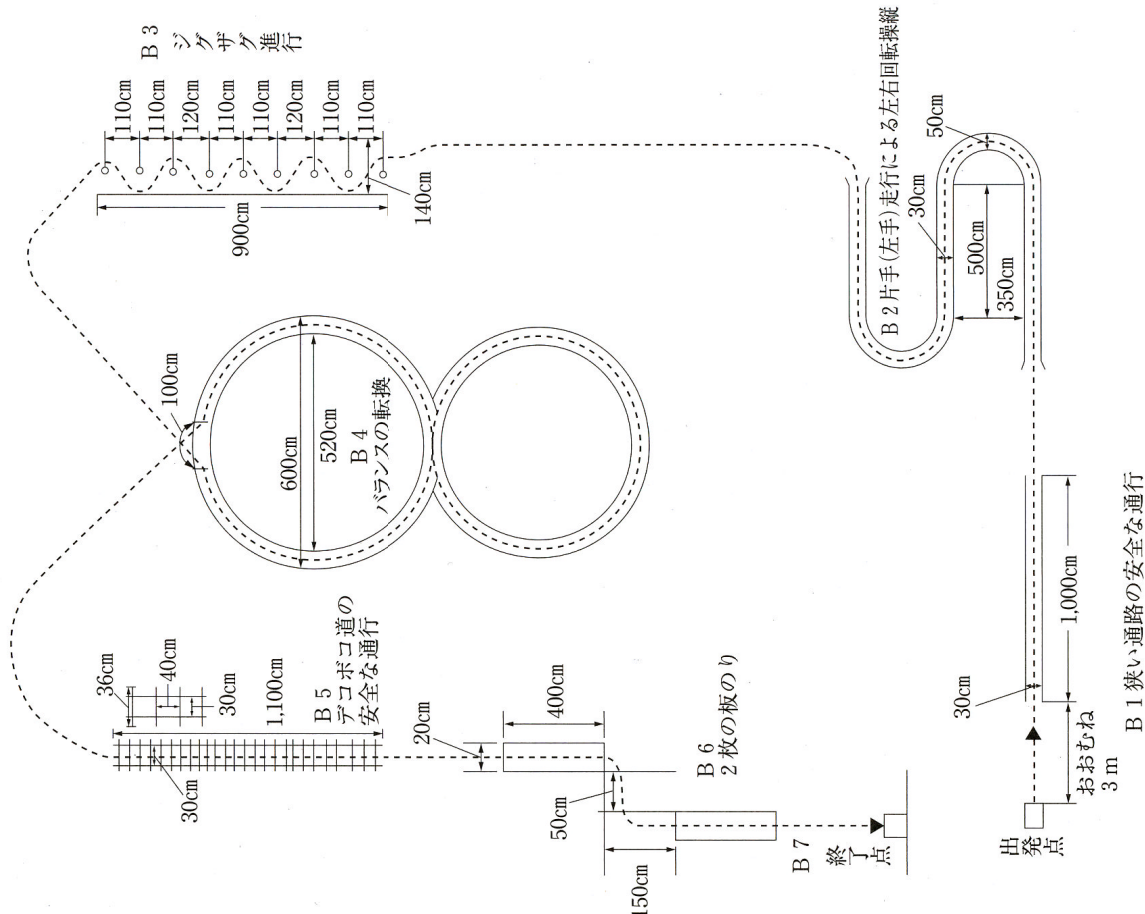
上の質問Q8であると答えた人に聞きます

- ① それはいつ? …… () 月ごろの () 時ごろ
- ② どこで? …… ()
- ③ 自分は怎么样了? …… ()
- ④ 相手は怎么样了? …… ()
- ⑤ 警察への連絡は?
(相手がした 自分でした 親がした 周囲の人がした していない)
- ⑥ 学校には報告しましたか? …… (した していない)

Q9 あなたは事故に遭ったときの対応の仕方を知っていますか？

- ア 十分知っている イ だいたい知っている
ウ あまり知らない エ 全く知らない

資料 1 3

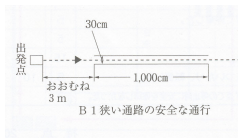


資料 1 4

自転車安全運転競技会 競技の採点ポイント

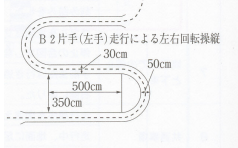
競技者①のコース

B 1 狭い通路の安全な走行



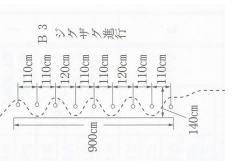
減点項目	減点		
	1回	2回	3回
右側または左側の線に触れた	5	10	15
25秒未満で通過した	30		
走行中、地面に足を付いたり転倒した	1	2	3

B 2 片手(左手)走行による左右操縦



減点項目	減点		
	1回	2回	3回
両手を使った	10	20	30
内側または外側の線に触れた	5	10	15
刻み踏みをした	3	6	9
ペダルを逆転させた	3	6	9
走行中、地面に足を付いたり転倒した	1	2	3

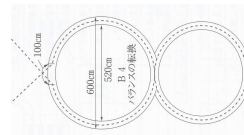
B 3 ジグザグ走行



減点項目	減点		
	1回	2回	3回
ピンを抜かした	10	20	30
ピンを倒した	5	10	15
右側または左側の線に触れた	5	10	15
刻み踏みをした	3	6	9
ペダルを逆転させた	3	6	9
走行中、地面に足を付いたり転倒した	1	2	3

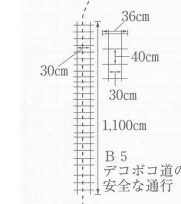
競技者②のコース

B 4 バランスの転換(8の字走行)



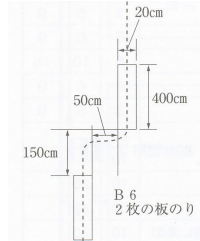
減点項目	減点		
	1回	2回	3回
内側または外側の線に触れた	5	10	15
刻み踏みをした	3	6	9
ペダルを逆転させた	3	6	9
走行中、地面に足を付いたり転倒した	1	2	3

B 5 デコボコ道の安全な走行



減点項目	減点		
	1回	2回	3回
縄ばしごに乗れなかった	20		
進入時、縄ばしごに乗れず、途中から乗った	10		
縄ばしごの外にはみ出した	10	20	
走行中、地面に足を付いたり転倒した	1	2	3

B 6 2枚の板乗り



減点項目	減点		
	1回	2回	3回
板に乗れなかった(1枚の板ごとに減点)	20	40	
途中から板に乗った(1枚の板ごとに減点)	10	20	
板から落ちた(1枚の板ごとに減点)	10	20	
刻み踏みをした	3	6	9
ペダルを逆転させた	3	6	9
走行中、地面に足を付いたり転倒した	1	2	3

練習しないとかなり難しいよ!!

資料 1 5

保護者対象

文部科学省委託 「平成20年度交通安全教育実践地域事業」に関わるアンケート

- 記入していただく方の性別をお答え下さい(男性・女性)
- 記入していただく方の日頃の自動車及び自転車の運転状況をお答え下さい。
自動車・・・(週に4回以上・週に2~3回・週に1回程度・運転しない)
自転車・・・(週に4回以上・週に2~3回・週に1回程度・運転しない)

- ご自分は日頃から交通安全に対して関心が高い方だと思いますか。
(非常に高い どちらかといえば高い どちらかといえば低い 非常に低い)

- 交通事故についてどのようなお考えに近いですか。次のうち該当する考えに1つ〇印を付けてください。

<input type="checkbox"/>	ある程度発生するのはやむを得ず、減少できなくても仕方ない。
<input type="checkbox"/>	なくすことは困難だが、大幅に減少させるべきである。
<input type="checkbox"/>	事故に遭ったり、事故を起こすのは、本人の責任である。自分には関係ない。
<input type="checkbox"/>	交通事故をなくすことは可能でありゼロを目指すべきである。
<input type="checkbox"/>	事故に遭ったり、事故を起こすのは、運が悪いからである。

- 記入していただく方から見て、最も交通ルールを守っていないのは誰だと思いますか。一つ選んで〇を付けてください。
(幼稚園児 小学生 中学生 高校生 大学生 社会人 高齢者)

- ご家庭でお子様と、交通安全について話されることはありますか。
(よくある たまにある ほとんどない まったくない)

- 6で「よくある」「たまにある」と答えられた方にお聞きします。
どのようなことについて話し合われますか?

- 6「ほとんどない」「まったくない」と答えられた方にお聞きします。
なぜ、交通安全について話し合えないのですか?

- 本校の生徒の自転車マナーについて、気になるものをお選び〇印をつけて下さい。
(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	二人乗り	<input type="checkbox"/>	無灯火
<input type="checkbox"/>	傘差し運転	<input type="checkbox"/>	並んでの運転
<input type="checkbox"/>	信号無視	<input type="checkbox"/>	一時不停止(飛び出し)
<input type="checkbox"/>	携帯電話をしながらの運転	<input type="checkbox"/>	スピードの出過ぎ
<input type="checkbox"/>	音楽を聴きながらの運転	<input type="checkbox"/>	横断歩道以外での道路横断
<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>	気になることはない

- 本校の生徒の自転車マナーについて100点満点で採点すると何点ですか。
アに記入されるか、イに〇印を付けてください。

ア. 点 イ. 見たことがないので、分からない

- 生徒の自転車事故をなくすために必要なものは何だとお考えですか。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	教員による通学路での登校指導の強化
<input type="checkbox"/>	教員・PTA 合同での登校指導・啓発活動
<input type="checkbox"/>	交通安全教室の充実
<input type="checkbox"/>	ポスターを貼ったり、チラシを配布したりして啓発活動を強化する
<input type="checkbox"/>	警察への交通安全指導強化の要請
<input type="checkbox"/>	二人乗り・傘差し・ながら運転などの違反生徒に対する学校での罰則強化
<input type="checkbox"/>	加害者になった場合の、社会的、経済的、精神的な損失の大きさを分らせる
<input type="checkbox"/>	家庭(保護者)での交通安全に対する意識づけ
<input type="checkbox"/>	その他()

- 交通ルールを守らなければならないことは、大人も子供も頭では分かっています。しかし、なぜ守れない人が多くいて、それが原因で交通事故が起ってしまうのだと思われますか。自由に記入してください。